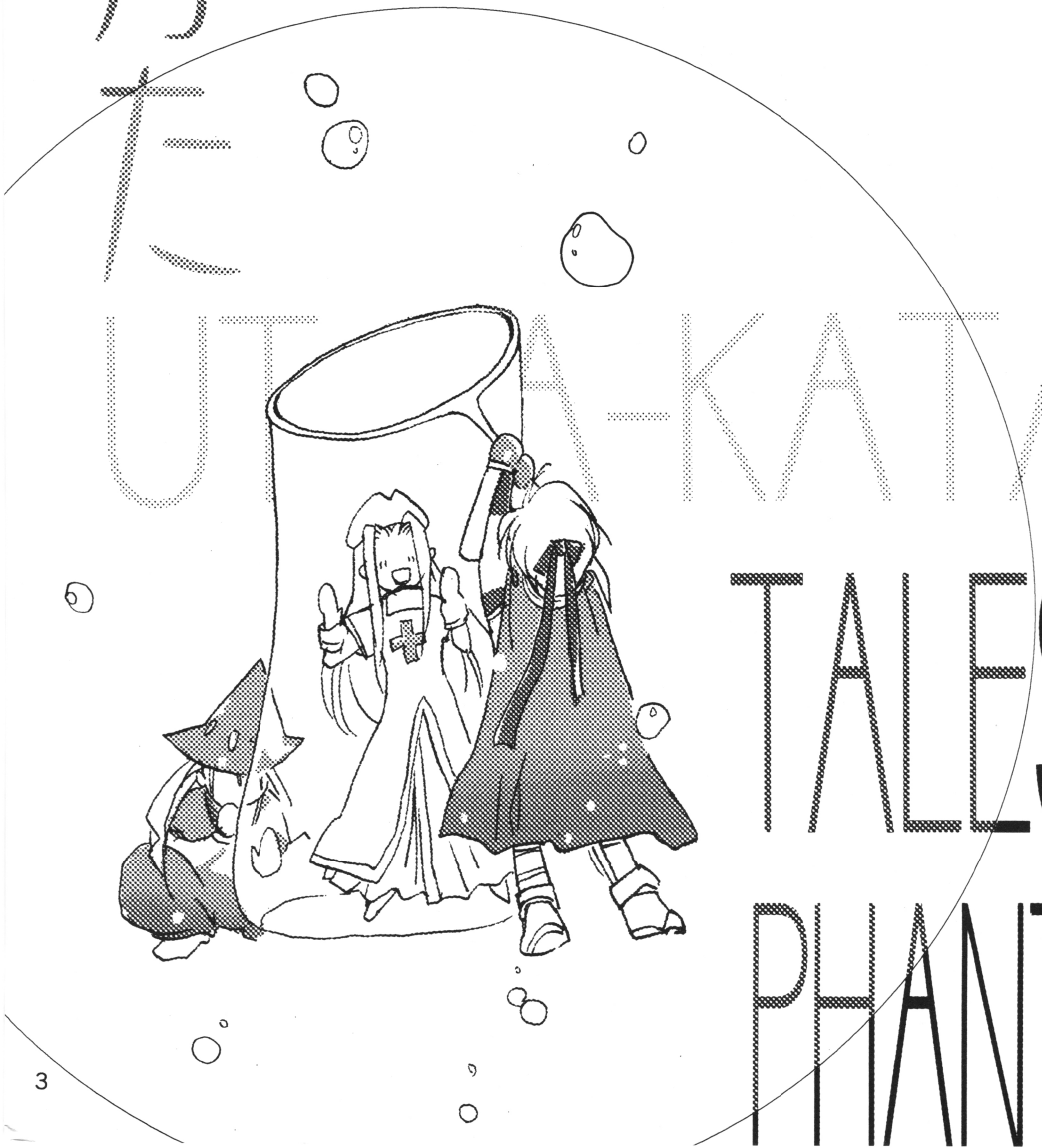
UTA KATA

泡沫

Tales of Phantasia

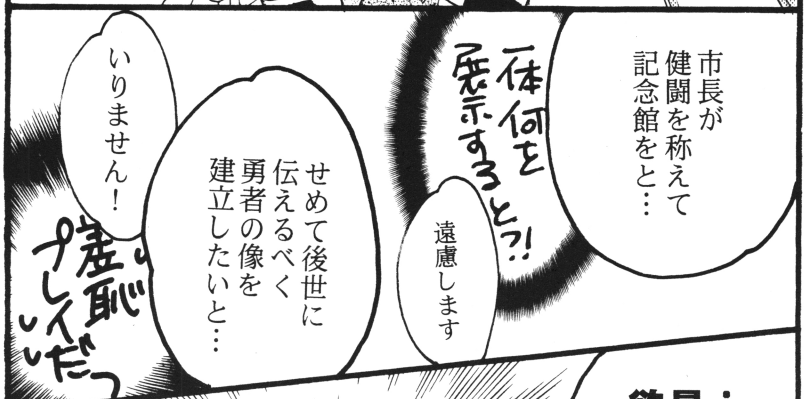
うたかた

UTA-KATA



TALES OF PHANTASIA

くさっても勇者



こんなところでトークです。

こんにちわ。如月堂です。相変わらずエルフネタとかクラミラですが、ファンタジアの世界を楽しんでいただけたらと思います。ツッコミ所多数ですが…。

麻魚 創 & 高槻きくま

↑

今回コピー本のお話再録+αです
絵や絵が変わってるのは忘れて下さい…。

何かこう、すっごい！トコだね～

うっわー

聖域ってくらいだしなあ

エルフの里には入れなくてももっと大事なトコに来ちゃうなんてアリ？

何かマズイケな話だなぁ…

そうきょうな…

さあて

コトン

こっからが一仕事だ

寝た子を起こさんとな！

オリジン！
ユミルの森の奥深く。
エルフの聖域
ヘイムダールに
黒い石版があるという
そこには
精霊の王様が
すんでいる

正直いって今回は
乗り気じゃなかった。

へぇ〜ダーレぬぇ

あたしがエルフに
関わってロクな思いを
したためしがないし

何より

マナの流れを
感じれる身じゃ
ありなずかな

エルフの聖域に祭られてる
精霊ってだけで
相当なプレッシャーが！

人に絡まるとは
やはり計りしぬ
魅力な面の

でもでもオリジンと
契約して時の剣を
作らないとダオス
倒せないし！

いいあああああ

じゃ、あたし
待ってんねー

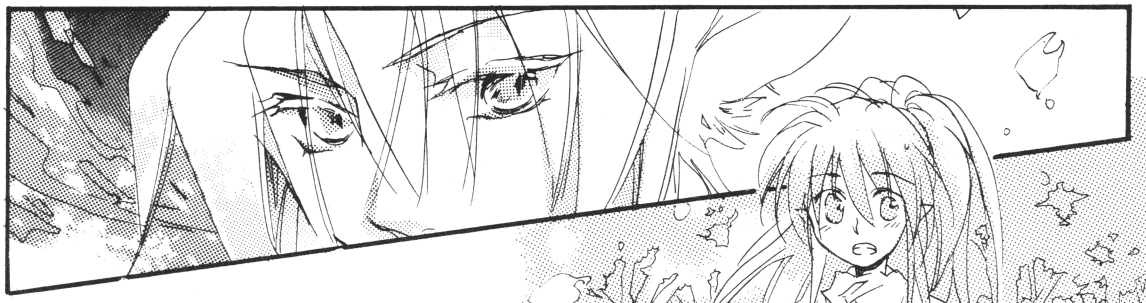
おう
行ってくるー

ま、
ここは
ガマン
しなきゃねー

森中に入れない
現実ってのが
また痛いなあ…

だから

その精霊(オリジン)との
出会いは
特別だった



けれどその目は
どこまでも
どこまでも透明で。

わあぁ…

石も　樹も　人間(ヒト)も
あたしも(ハーフエルフ)。
おなじ重さで
見る目をしていた

…やっぱり
精霊なんだなー
次元がちがうよ。

…何お前
ニヤニヤしてんだ？
べっつに～
笑ってるっての
そんなに　ここ(森)に
来れたのが嬉しいのか

この森に
属するものが
『普通』に
見てくれた

そのことが
バカみたいに
嬉しくて嬉しくて

幸せだった

フン

『本当は』

『あなたに会いに来るのも
反則なのかな?』

やっかいな
流れに

のみ込まれて
しまったものだ

過去のニオイ
現在のニオイ
未来のニオイ

全てが
混じり合っている…

増え続ける人間
減り続けるマナ

狂っていく
バランス

そして
時を渡る侵略者

エルフ族はヒトの世界から離別するでしょう
彼らが「むさぼるもの」である限り相入れることはない
魔力を持ち、マナを感じながら人間に協力するハーフエルフとも…
『時間は』

『私を通ってゆくものだ』

オリジン……

あたしのこと覚えてるよ…ね？

チャキ

チャキ

我が名を知りヘイムダールに足を踏み入れし者よ

万物の精霊

ズゴ

もちろんそれ相応の代償を払う覚悟はできていよう？

ちょ

ちょ

ちょっとまってってば!!

コレっ!!

へへっ

これでわかるでしょ？

…そうか

あの流れの

あー…びっくりした！

同一存在が同じ時代に2人もいれないから クラースから『戻った』って聞いて…

で 何用だ？

えーっと。

うわあ

何となく会いたかったからじゃ――

……

見事にスルーされたよ…

えとすみませんごめんなさい一応用事もあるから！

ミラマなんはいやいからい

なんとぉ
ミラルドさん
正にも負にも
ころころ変わる
感情
その想いのままに
時には命を投げだせる
人間たち
歴史すら
動かしたあのものたち
でね
ダイアモンドは
「永遠」の
象徴でしょ？
だからオリジンに
祝福を授けて
もらえたら
一番かなーって
激しく熱く
…ふむ
うつろいやすく
流されやすい
変わらぬものなど
あるまいに
努力してこその
「永遠」だよ
金剛石――『永遠』『絶対なる不変』

何もしないで
手に入るものじゃないから

二人でがんばって
「永遠」にするんだから

きっとだいじょーぶ！

…そうか

思えば我とて
同じではない

通り過ぎてゆくだけの時間に

染まったか…

だが、
悪くはない

きっと　その「永遠」が

言祝ぎを　あるじに

成就されることを願って

End.

久々のテイル本でしたが
いかがでしたでしょうか…。
発行のたびに絵が変わっている気もしますが、
楽しんでいただければ幸いです。
こんだけ本出して、まだ描きたいってのが
すごいなぁ…と思ったり。

2007 08 高橋さくら

あの丘から
御神木を見るのが
好きだったそうよ

遺体…

殆ど原型を
とどめていなかった
みたいね

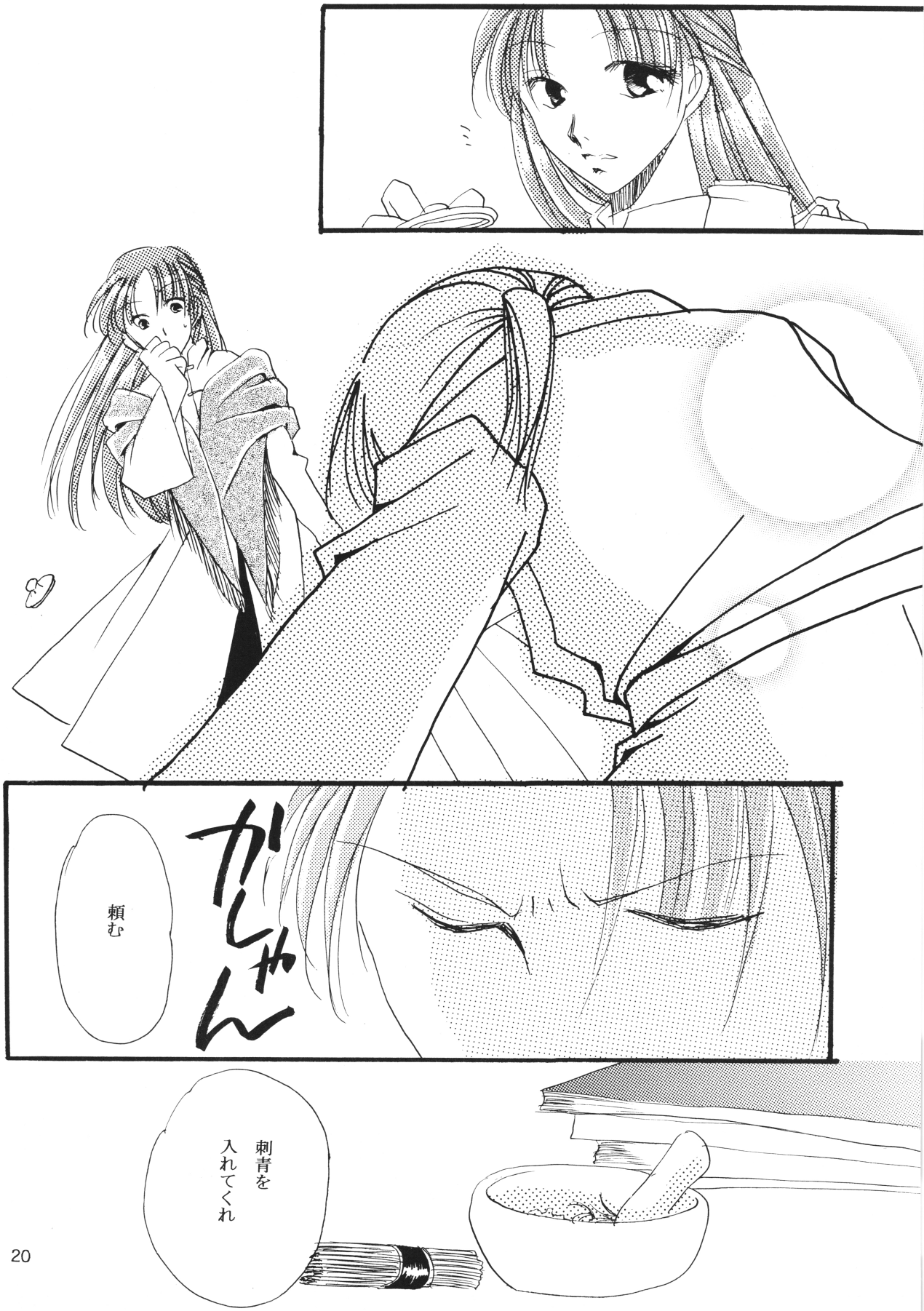
けほん

けほん

多分、妹のために
精霊の森まで
薬草を探しに行ったって…

ねえ、お母さん

お姉ちゃん、ねんねしてるの？
本当に最近モンスターの被害が増えたわね…
「ダオス」が現れてから大人しかった種族まで暴れだしたって…


頼む
かしゃん
刺青を
入れてくれ

それは…

分かってる、
取り返しがつかないと
何度言っても
お前は反対したからな

もう、名誉だとか
プライドと研究の為だとか

そんなもの以前に
「やらなければいけない」
事なんだ、これは

ダオスは
剣が効かないらしいが、
今人間が人間を護る手段は
剣しかない筈だ

剣は扱えない人間も多い
その上、人間は魔法という
選択肢を与えられていない

ミラルド
どうしてだと思う？
人間は…どんな罪を
犯したのだと思う？
神に見放されるほどの
大罪を
英雄になる気なんて
サラサラないさ
でも、目の前で起こる事を
ただ見過ごしたくはない
だけなんだ

クラースさん
クラースさん

力を与えられなかったのなら
どんな手を使ってでも
勝ち取ってみせる…！

これは…
精霊の森にでも
行かないと生えていないな

そっか…

ただし、ミラルド

この薬草って
この辺でも取れる？

行こうとか
思うんじゃないぞ
モンスターがいるんだから

……うん

お前と共に
やれるのなら…

胸が痛むのは、
傷付けてしまった者の
心の痛みを知っているから

……責任
取ってよね

一生――
……一生よ……！

それでも引き止めておきたい、この想いは

うたかた

20070817 : 如月堂 PRESENTS
SPECIAL THANKS : 金沢印刷・様

1 麻魚 創

http://mauo.net/
fg0m@mauo.net

2 高槻 きく丸

http://rinkuh.sakura.ne.jp/
kiku@rinkuh.sakura.ne.jp

TALES OF PHANTASIA

KISARAGI-DO PRESENTS